



2024年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年12月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ストリーム
コード番号 3071 URL <https://www.stream-jp.com/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)齊藤 勝久
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)齊 向東
四半期報告書提出予定日 2023年12月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第3四半期の連結業績(2023年2月1日~2023年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第3四半期	19,770	△11.1	68	△70.7	49	△76.4	16	△89.5
2023年1月期第3四半期	22,251	6.9	232	△30.6	211	△34.1	161	△40.3

(注) 包括利益 2024年1月期第3四半期 13百万円(△91.4%) 2023年1月期第3四半期 152百万円(△42.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第3四半期	0 62	— —
2023年1月期第3四半期	5 90	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第3四半期	6,682	2,974	44.0
2023年1月期	6,360	2,998	46.6

(参考) 自己資本 2024年1月期第3四半期 2,941百万円 2023年1月期 2,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	— —	0 00	— —	3 00	3 00
2024年1月期	— —	0 00	— —	— —	— —
2024年1月期(予想)	— —	— —	— —	3 00	3 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年1月期の連結業績予想(2023年2月1日~2024年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,946	△7.5	201	△47.5	179	△51.1	116	△46.5	4 24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年1月期3Q	28,525,000株	2023年1月期	28,525,000株
② 期末自己株式数	2024年1月期3Q	888,500株	2023年1月期	1,236,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年1月期3Q	27,493,730株	2023年1月期3Q	27,288,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年2月～2023年10月)におけるわが国経済は、総じて緩やかな回復基調にあり、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果から、今後も回復傾向が続くことが期待されます。一方、エネルギー資源や原材料価格の高騰、円安の進行に伴う物価上昇が個人消費に与える影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、お客様のライフスタイル作りのサポートとして「より良い商品」「より良い価格」「より良いサービス」をモットーに、新しい価値観の提案・提供を通して社会の発展に貢献することを経営の基本方針に、既成概念にとらわれることなくチャレンジを続け、インターネット通販事業を中心に事業活動を行っております。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①インターネット通販事業

当第3四半期連結累計期間(2023年2月～2023年10月)における国内の家電小売業界におきましては、7月から9月にかけて猛暑が続いた結果、エアコン等の季節家電やデジタルカメラ関連は好調だったものの、それ以外の冷蔵庫や洗濯機等の生活家電、テレビ、パソコン等が低調であったこと等により、総じて伸び悩む展開となりました。

このような状況の中、当社が出店する「楽天市場」「Yahoo!ショッピング」「Amazonマーケットプレイス」等の外部サイトの売上高は、ポイント等の効果的な販促施策の展開により、HDD、スマートフォン、デジタルカメラ、カメラ用レンズ、ディスプレイを中心に好調に推移いたしました。また、エアコンについてもほぼ前年同四半期並みに堅調に推移しており、今後も売れ筋商品の在庫施策等により更なる売上高確保に努めてまいります。

商品購入検討時の問い合わせ用にWEB接客ツールのチャット機能を導入している「ecカレント」オリジナルサイト、「楽天市場」及び「Yahoo!ショッピング」の外部サイトにおける大型家電の配送設置サービスは、きめ細やかな接客を通してそれぞれのユーザーに合った提案を行うよう努めております。2023年8月より電話にてエアコン、冷蔵庫、洗濯機等の大型商品のご注文の際、不明な点、質問に対してオペレーターが丁寧に対応させて頂く「ecカレント設置ご相談ダイヤル」を設置しました。さらに、1都3県(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)へ最短2日で、大型家電品の設置配送を行うサービスについて、よりお得な商品をお買い求め頂けるよう一層の商材の充実を図りました。また、スピーディーに届けられるよう更なる納期短縮の取組みを行いました。

2023年8月には、「ecカレント」オリジナルサイトにおいて、公式のLINEスタンプの配布を行い初月に180万件以上のダウンロードがあり、店舗の新たな顧客層への認知度向上と新規会員登録へ繋げております。

2023年11月には、合同会社DMM. comが運営する「DMM通販」に当社運営の通販サイト「ecカレント」がグランドオープンし、外部サイトの販路拡大を図りました。

当社が運営する家電レンタルサイト「レントコ」では2023年8月に、対象商品のレンタルアイテムについて、レギュラー会員：ポイント3%、レントコクラブ会員：ポイント5%を還元するレントコポイントサービスをスタートし、販促の強化を図りました。

「必要な機能をシンプルに絞り込み、更に“あったらいいね!”と思える便利機能を加え、そして洗練されたデザインで新しい価値を提案するいいもの(商品)の提供を目指します」をコンセプトに会社設立20周年を記念して立ち上げた当社のプライベートブランド『enas(イーネーズ)』の第1弾CDプレイヤー「enas EASY CD PLAYER」を2020年7月に発売して以降、約3年ぶりに第2弾マイナスイオンドライヤー「Cavari Dryer(キャビアドライヤー)」、第3弾コンパクト除湿機「すみっこだらい」及び第4弾水拭き掃除機「ウェット&ドライ スマートクリーナー」を「ecカレント」ははじめ当社運営各サイトで10月より販売を開始しました。

各カテゴリにおける前年同四半期比では家電21.0%減、パソコン8.8%減、周辺機器・デジタルカメラ5.6%増となりました。

売上高に関しましては、食料等生活必需品の価格高騰による消費者の節約志向の影響もあり、前年同四半期を下回りました。また利益面に関しましては、消費者の節約志向に伴う競合他社との価格競争による粗利益の低下により前年同四半期比で減益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高は18,910百万円（前年同四半期比11.4%減）、営業利益340百万円（前年同四半期比39.8%減）となりました。

インターネット通販事業の売上・受注件数等の推移

	売上高(百万円)	営業損益(百万円)	受注件数(千件)	棚卸資産回転率 (回転/年換算)
当第3四半期連結累計期間	18,910	340	822	9.6
前第3四半期連結累計期間	21,348	565	1,001	11.4

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

(百万円)

	家電	パソコン	周辺/デジカメ	その他	合計
当第3四半期連結累計期間	9,654	2,214	6,137	903	18,910
前第3四半期連結累計期間	12,223	2,428	5,813	882	21,348

※当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。

②ビューティー&ヘルスケア事業

株式会社エクスワンにおいて展開される、ビューティー&ヘルスケア事業においては、新商品として、2023年10月にヒト幹細胞培養液配合の「X L U X E S（エクスリユクス）」シリーズから、スキンケアアイテム「エクスリユクス チェリーブロッサム オールインワンジェル」を「エクスツールド」会員向けに発売し、おかげさまで売上高は堅調に推移いたしました。

会員ビジネスにおいては、WEB会議アプリケーションによる動画（ライブ含む）配信を活用したオンラインセミナーに加えて、8月から10月にかけて東京、大阪、福岡、新潟で対面でのセミナーを開催し、会員とのきめ細やかなコミュニケーションを行っており、売上高は堅調に推移いたしました。

エクスワンの直営店舗「エクスリユクス横浜」では10月に大創業祭を開催し、購入金額3,500円毎に1回チャレンジできる豪華賞品が当たるくじ引き等の各種販促施策により化粧品を中心に実際に手にとって実感してもらえるようブランディングの強化を図りました。

また、2023年5月に開業したウエルエイジングクリニック南青山と提携を行い、株式会社エクスワンがこれまで培ってきたエイジングケアに関するノウハウを活用し、インスタライブのイベント、オンライン診療等に係るコンサルティング等のメディカルサービス事業を新たに展開しております。

売上高に関しましては、会員向けビジネスは概ね計画通り推移する一方で、卸販売においては、新型コロナウイルス感染症の規制緩和に伴いインバウンド需要は徐々に戻ってきているものの、全体として前年同四半期を下回る結果となりました。利益面に関しましては、コスト削減の効果もあり赤字幅は縮小いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高は557百万円（前年同四半期比3.4%減）、営業損失48百万円（前年同四半期は117百万円の営業損失）となりました。

ビューティー&ヘルスケア事業の売上推移

(百万円)

	パーソナルケア	ヘルスケア	その他	合計
当第3四半期連結累計期間	273	162	121	557
前第3四半期連結累計期間	315	173	87	577

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

※当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。

③その他事業（「各種販売支援事業」、「3PL事業」、「不動産事業」）

「各種販売支援事業」においては、ラオックス・グローバルリテーリング株式会社の国内免税店舗等において訪日観光客向け販売や株式会社エクスワン商品の会員向け販売のシステム・物流支援等を行っております。

「3PL事業」においては、当社が運営する「ecカレント」をはじめインターネット通販サイト運営で培ってきたノウハウを基に、販売から物流までワンストップで管理する質の高いシステムをインターネット通販事業者の皆さまに対して提供してきた実績を活かし、物流倉庫・受注管理・出荷の包括的な物流支援サービスである本事業の更なる強化を図っております。パソコンや家電以外に自転車、エンターテインメントグッズ等のアイテムやスポット対応等柔軟な対応によりビジネスは堅調に推移しております。

また、継続的に新聞やインターネット（主に検索連動型）での同事業の広告展開及び取材対応に伴うメディアへの露出に努めております。

「不動産事業」においては、国内案件のみならず、訪日外国人も対象にした、不動産の売買・賃貸等に関する仲介事業を開始しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は363百万円（前年同四半期比6.9%減）、営業利益55百万円（前年同四半期比13.0%増）となりました。

2023年6月に、WealthPark株式会社と業務提携契約を締結しました。それに伴い、当社がこれまでインターネット通販サイト及び家電レンタルサイト運営で培った販売から物流までワンストップで管理する質の高いシステムのノウハウや国内外のネットワークを駆使し、WealthPark Real Estate Technologies株式会社と不動産関連情報等の相互シェア、又WealthPark社の不動産管理会社向けソフトウェア『WealthPark ビジネス』を活用することにより、当社は賃貸借取引における入居申込から不動産オーナーの承諾まで一気通貫での電子化が可能となり、今後、スピーディーな賃貸借契約の締結と大幅な業務効率化を実現していきます。このようなソフト及びアプリの提供を通じ、入居者のニーズに沿って入居前にあらかじめ家電商品の購入や家電レンタル品の設置を行う家電商品を含めた不動産仲介トータルソリューションサービスを行うべく、当社はこれからウェブを活用した不動産事業をグローバルに展開していきます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高19,770百万円（前年同四半期比11.1%減）、営業利益68百万円（前年同四半期比70.7%減）、経常利益49百万円（前年同四半期比76.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16百万円（前年同四半期比89.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ321百万円増加し、6,682百万円となりました。これは主に、現金及び預金341百万円減少、商品455百万円増加、工具、器具及び備品(純額)45百万円増加、長期貸付金の増加等による投資その他の資産「その他」143百万円増加によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ345百万円増加し、3,707百万円となりました。これは主に、買掛金501百万円増加、短期借入金200百万円増加、未払金259百万円減少、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)53百万円減少によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ23百万円減少し、2,974百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益16百万円の計上、自己株式42百万円減少、配当金の支払81百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ341百万円減少し、792百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、142百万円(前年同四半期は360百万円増加)となりました。収入の主な内訳は、非資金項目である減価償却費122百万円、仕入債務の増加額494百万円であり、支出の主な内訳は、棚卸資産の増加額441百万円、未払金の減少額等による「その他」の減少額338百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、260百万円(前年同四半期は140百万円使用)となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出69百万円、無形固定資産の取得による支出95百万円、貸付けによる支出120百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果増加した資金は、61百万円(前年同四半期は916百万円使用)となりました。収入の内訳は、短期借入金の純増額200百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出53百万円、配当金の支払額81百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月期の業績予想に関しましては、2023年12月7日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,133,762	792,312
売掛金	1,486,418	1,449,228
商品	2,703,016	3,158,820
その他	135,975	199,911
流動資産合計	5,459,173	5,600,273
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	122,757	119,863
工具、器具及び備品(純額)	21,113	66,479
土地	2,003	2,003
建設仮勘定	467	6,751
有形固定資産合計	146,341	195,097
無形固定資産		
ソフトウェア	334,478	330,331
その他	12,083	14,736
無形固定資産合計	346,562	345,068
投資その他の資産		
投資有価証券	588	582
出資金	16,270	16,270
差入保証金	360,766	350,513
その他	46,713	190,429
貸倒引当金	△15,876	△15,876
投資その他の資産合計	408,462	541,918
固定資産合計	901,366	1,082,084
資産合計	6,360,539	6,682,357

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,717,350	2,218,904
短期借入金	400,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	71,928	71,928
未払金	754,288	495,037
未払法人税等	39,735	580
賞与引当金	4,666	11,666
その他	126,071	117,716
流動負債合計	3,114,040	3,515,834
固定負債		
長期借入金	181,686	127,740
その他	66,367	64,281
固定負債合計	248,053	192,021
負債合計	3,362,093	3,707,856
純資産の部		
株主資本		
資本金	924,429	924,429
資本剰余金	888,563	885,633
利益剰余金	1,306,018	1,241,101
自己株式	△152,609	△109,659
株主資本合計	2,966,402	2,941,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	42
その他の包括利益累計額合計	48	42
新株予約権	-	4,793
非支配株主持分	31,993	28,160
純資産合計	2,998,445	2,974,501
負債純資産合計	6,360,539	6,682,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年2月1日 至2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年2月1日 至2023年10月31日)
売上高	22,251,394	19,770,899
売上原価	18,202,454	16,298,443
売上総利益	4,048,940	3,472,455
販売費及び一般管理費	3,816,384	3,404,395
営業利益	232,555	68,059
営業外収益		
受取利息	19	988
受取配当金	43	16
受取手数料	785	603
為替差益	7,419	673
助成金収入	2,500	-
その他	1,009	942
営業外収益合計	11,778	3,224
営業外費用		
支払利息	9,753	6,265
支払手数料	22,652	13,944
その他	1	1,100
営業外費用合計	32,407	21,311
経常利益	211,926	49,973
特別利益		
固定資産売却益	-	17
特別利益合計	-	17
特別損失		
固定資産除売却損	452	2,714
投資有価証券評価損	623	-
リース解約損	895	-
特別損失合計	1,972	2,714
税金等調整前四半期純利益	209,953	47,276
法人税等	57,359	34,161
四半期純利益	152,594	13,114
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,537	△3,833
親会社株主に帰属する四半期純利益	161,132	16,947

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益	152,594	13,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76	△6
その他の包括利益合計	76	△6
四半期包括利益	152,670	13,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,208	16,941
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,537	△3,833

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	209,953	47,276
減価償却費	122,567	122,924
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,000	7,000
受取利息及び受取配当金	△63	△1,004
支払利息	9,753	6,265
為替差損益(△は益)	△331	△163
固定資産除売却損益(△は益)	452	2,697
投資有価証券評価損益(△は益)	623	-
リース解約損	895	-
売上債権の増減額(△は増加)	597,619	37,189
棚卸資産の増減額(△は増加)	△69,425	△441,654
仕入債務の増減額(△は減少)	△239,641	494,127
その他	△138,089	△338,416
小計	501,315	△63,757
利息及び配当金の受取額	63	1,004
利息の支払額	△9,754	△6,266
訴訟関連損失の支払額	△36,498	-
法人税等の支払額	△94,742	△73,143
営業活動によるキャッシュ・フロー	360,383	△142,163
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24,731	△69,114
無形固定資産の取得による支出	△97,393	△95,737
貸付けによる支出	-	△120,000
貸付金の回収による収入	-	15,000
差入保証金の差入による支出	△2,730	△732
差入保証金の回収による収入	-	11,042
その他	△16,015	△879
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,872	△260,421
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△765,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△53,946	△53,946
配当金の支払額	△81,217	△81,551
その他	△15,916	△3,368
財務活動によるキャッシュ・フロー	△916,080	61,134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△696,569	△341,450
現金及び現金同等物の期首残高	1,792,502	1,133,762
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,095,933	792,312

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	ビューティ&ヘルスケア事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,348,017	563,240	340,137	22,251,394	—	22,251,394
セグメント間の内部売上高又は振替高	791	14,020	49,983	64,795	△64,795	—
計	21,348,808	577,261	390,120	22,316,190	△64,795	22,251,394
セグメント利益又は損失(△)	565,375	△117,099	49,287	497,563	△265,008	232,555

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△265,008千円は、セグメント間取引消去△1,010千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△263,997千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他事業は、各種販売支援事業及び3PL事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	ビューティ&ヘルスケア事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,909,253	546,958	314,687	19,770,899	—	19,770,899
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,454	10,572	48,360	60,387	△60,387	—
計	18,910,708	557,531	363,048	19,831,287	△60,387	19,770,899
セグメント利益又は損失(△)	340,114	△48,987	55,712	346,840	△278,780	68,059

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△278,780千円は、セグメント間取引消去726千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△279,506千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他事業は、各種販売支援事業、3PL事業及び不動産事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。